

履歴書記入上の注意

1. 氏名、現住所等は、願書と同一のものを記入すること。
2. 年齢は、出願時の満年齢を記入しないように注意すること。令和5年3月31日現在のものを記入すること。
※ 年齢は、誕生日前日が終了する時点で一つ上がることとなります。（年齢計算ニ関スル法律及び民法第143条による。）4月1日生まれの方はご注意ください。
3. 学歴・職歴・賞罰について
 - ① 年月日は、西暦ではなく和暦で記入すること。
 - ② 学歴は、高等学校から記入すること。大学については、大学・学部・学科まで正式名称で記入すること。また、中途退学の場合も明記すること。
 - ③ 大学卒業後、就職し、再び大学に入学し直した（通信制課程を含む）場合にも、学歴欄に記入すること。
 - ④ 職歴は、1日であっても空白期間のないように在宅期間は「在家庭」と記入すること。
 - ⑤ 職歴の職名については、教諭、常勤講師・非常勤講師、正規職員・臨時職員の区別が分かるように記入すること。
 - ⑥ 現在職にある者は、令和5年3月31日までの予定を含めて記入すること。
 - ⑦ 発令庁欄については、辞令等に基づき記入すること。
 - ⑧ 該当する職歴がない場合には、職歴欄に必ず「なし」と記入すること。
 - ⑨ **賞罰は、書き落としのないよう注意すること。**
懲戒処分（免職・停職・減給・戒告）等を受けたことがある場合には、必ずその内容を記載すること。
該当する事項がない場合には、賞罰欄に必ず「なし」と記入すること。
※ 例年、未記入のため再提出を求められるケースがあるので、くれぐれも注意願います。
4. 職歴等が多く欄が不足する場合
 - ① 様式の書式等を変更せず、そのままコピーし、2ページ目以降を作成すること。
 - ② 上段の氏名・現住所等は1ページ目にのみ記載すること。
 - ③ 2ページ以上となる場合は、全ページに記載者氏名を記入すること。
 - ④ 作成年月日の記入、記載者押印は最終ページにすること。
 - ⑤ 出力（印刷）する場合は、両面印刷ではなく、必ず片面印刷で作成すること。
5. その他の取得免許・資格等は、願書で記入しきれなかった免許・資格を記入すること。特に記載すべき事項がない場合には、空欄のままとすること。

(記入例 その1)

様式第6号

履 歴 書					
フリガナ	ミヤギ タロウ		生 年 月 日	年 齢	
氏 名	宮城 太郎		平成5年5月18日	29歳	
現住所	仙台市青葉区本町3-8-1 仙台荘201		電 話	022-211-3637	
年 月 日	履 歴 事 項			発令庁等	
学	平成21・4・1	から	宮城県青葉高等学校		
	平成24・3・31	まで			
	平成24・4・1	から	青葉大学 体育学部 体育学科		
平成28・3・31	まで				
歴	平成28・4・1	から	陸前大学 大学院 教育学研究科		
	平成30・3・31	まで			
	・	から			
職	平成30・4・1	から	株式会社教採出版 正規職員		
	平成30・8・31	まで			
	平成30・9・1	から	在家庭		
	平成30・9・30	まで			
	平成30・10・1	から	仙台市立本町小学校 常勤講師		仙教委
	平成31・3・30	まで			
	平成31・3・31	から	在家庭		
	平成31・3・31	まで			
	平成31・4・1	から	宮城県栗原高等学校 常勤講師		宮教委
	令和2・3・31	まで			
令和2・4・1	から	宮城県美里高等学校 常勤講師	宮教委		
令和3・3・31	まで				
令和3・4・1	から	宮城県美里高等学校 常勤講師	宮教委		
令和4・3・31	まで				
歴	令和4・4・1	から	宮城県美里高等学校 常勤講師	宮教委	
	令和5・3・31	まで			
	・	から			
	・	まで			
	・	から			
	・	まで			
	・	から			
・	まで				
賞	・	・	なし		
罰	・	・			
上記のとおり相違ありません。					
令和 4年 5月10日					
氏 名 宮 城 太 郎 印					

(注) 1 「履歴書記入上の注意」に従って記入すること。

2 入力終了したら各自で印刷し、押印の上、第1次試験当日に持参すること。

その他の取得 免許・資格等	
------------------	--